

1. 評価結果概要表

平成 20年 9月 3日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2070101767 | | |
| 法人名 | 有限会社 カインズ・ライフ | | |
| 事業所名 | グループホーム しなの | | |
| 所在地 | 長野市上野2丁目589-1 (電話) 026-296-7702 | | |
| 評価機関名 | 株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室 | | |
| 所在地 | 長野県松本市深志3丁目7番17号 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年9月3日 | 評価確定日 | 平成20年10月16日 |

【情報提供票より】(20年 8月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|---------------|--------|-----------------|
| 開設年月日 | 平成 15年 12月 1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 25 人 | 常勤18人 | 非常勤7人 常勤換算10.6人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-----|-----|
| 建物構造 | 木造 造り | | |
| | 2 階建ての | 1・2 | 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|------------------|------------------------------|----------------|
| 家賃(平均月額) | 50,000 円 | その他の経費(月額) | 20,000 円 |
| 敷 金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有 | 入居後1年以内の退居の場合、 月割りして返済する。 | 有りの場合 償却の有無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 |
| | 夕食 | 円 | おやつ |
| | または1日当たり 1,500 円 | | |

(4) 利用者の概要 (8月 1日 現在)

| | | | | | | |
|-------|------|--------|-----|------|------|------|
| 利用者人数 | 17 名 | 男性 | 2 名 | 女性 | 15 名 | |
| 要介護1 | 2名 | 要介護2 | 5名 | | | |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 3名 | | | |
| 要介護5 | 2名 | 要支援2 | | | | |
| 年齢 | 平均 | 85.8 歳 | 最低 | 74 歳 | 最高 | 98 歳 |

(5) 協力医療機関

| | | |
|---------|---------------|-------------|
| 協力医療機関名 | (医) 清水内科クリニック | (医) とくま歯科医院 |
|---------|---------------|-------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長野市の北部に位置し自然豊かな管理者の生地で一生関わっていただける認知症ケアに強い思いを抱き「その人らしい豊かな暮らし」を理念とし「心を察し、お互いに寄り添う生活をする中で一人ひとりの思いや持っている能力を最大限に実現し、その人らしく豊かに暮らしていただく」ことをホームの目標としている。その目標をまさに実現化できているホームである。開設時に比べると少しずつ心身機能低下している利用者に出る限り寄り添い、「本人が困っていることは何か」という視点を大切にホームの中で自分らしい生活、楽しみを持った生活が出来るように日々、介護職員の努力が伺える。また、ホーム全体の厨房があり専門に食事を作り、職員は利用者との関わり出来る時間を多く持つ様に利用者が好むおやつと一緒に作るなどの工夫を行っている。玄関入り口に東屋があり、ゆったりとした穏やかな時間が流れているように肌で感じる事が出来る。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>ターミナルケアについては今後、家族への安心、本人の希望にかなう生活の維持のためにも指針などを示し家族の理解・安心感を作っていくためになるべく早めに検討をしていく必要があると思われる。防災については地域住民の協力が得られホームに対する理解も深められ、今後の地域住民との交流は多いに期待できるようになった。また、家族へ利用者の個別状況報告も定期的に行われ、担当職員の異動についても「しなの通信」を通じて報告がなされる様に改善されている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>チームリーダーを中心に話し合い、読み合わせを行った。その中で利用者への関わりが職員中心になっているのではないかと、自分が利用者の立場であれば今の対応についてどうなのかなど、気づきにつながり業務の見直しとなり、よい刺激となったのである。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は定期的に2ヶ月ごとに開催されている。運営推進会議ができたことで防災訓練の協力をお願いし、説明会を開くことなどで地域の区長、民生委員さんの見学の間が出来、グループホームの理解を得る場にもなった。今後も運営推進会議を利用し、地域の皆さんをグループホームへ招くなどの行事提案も検討中であるという。また、第三者評価についての報告もなされ家族会のことや地区との交流推進の場になっている。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族会が年に1回は開催されている。開催される中で年を重ねてくる利用者の心身状況に合わせた福祉用具利用についての質問や意見などもあり、ホーム内で検討し対応している。また、家族がホームに来所するときや電話など機会を見つけては利用者の状況説明を行い、家族が安心できる体制を作っている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>防災訓練を機会に地域の方との親密感が出てきている。散歩に出掛けるときには声かけをしたり挨拶をしたり、冬には雪かきを一緒にいたりしている。今後は地域の人たちに更なる協力を頂きながら、避難訓練時の実際の搬送など今後の地域連携の大きな一歩を踏み出して、体制作りにも多いに期待できる。</p> |

2. 評価結果 (詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|-------------------------|----------------------------------|
| 1. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 玄関の入口に理念・目標が掲げられている。利用者が元気に暮らし、できるだけ本人らしく生活できる支援をしていきたい。また地域の一員として地域の中で安心して生活できるようにという思いをこめて理念を作っている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 運営理念については朝のミーティング時に皆で唱和しており職員・管理者は理念の共有が出来ている。業務の行き詰まりなどのときは、原点に戻りケアに当る様に日々努力している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会の協力が得られるようになり、地域の人たちと一緒に避難訓練が出来るようになってきた。懇親会を行い、コミュニケーションを図るようにしている。散歩のときなども地域の人に挨拶や話をしたり、地区の清掃、雪かきなど協力して行っている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | チームリーダーが中心に話し合いをした。アンケートは全員に配布し無記名で回収した。話し合いの中で今まで何気なく行っていたケアについて振り返りができたようである。また、地域交流に対してもホーム内で老人会を開催し、地域の人を呼ぶなどの新企画も提示されるなど業務の改善、見直しになっている。 | | |

グループホームしなの

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|-------------------------|----------------------------------|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>2ヶ月に1回の開催が出来ている。運営推進会議の中でグループホームの活動状況の報告、防災訓練への協力の説明会・見学などにつながり、グループホームの理解が深まる機会になっている。推進会議のメンバーから出される意見や評価についての報告を行い業務改善への取り組みがなされている。</p> | | |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>運営推進会議には、市担当者として地域包括支援センター職員が参加している。ホーム内で業務方針などの中で相談が生じたときは、市に連絡を取り相談を行うようにしている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>家族会が年1回開催されている。利用者の健康状態やホームでの生活ぶりを個々に毎月のホーム便り「しなの通信」とともに郵送し、報告することを全員に行っている。また、面会時にはなるべく利用者の生活状況、身体状況を話すようにしている。金銭管理についても毎月小遣い帳のコピーを送り、来所時にサインを貰うようにしている。また、病状変化のある人はその都度こまめに報告を行うようにしている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族会が年1回開催され、個々に意見を聞く機会を設けている。あんしん相談員の導入も定期的になされており、意見・苦情の窓口となることの説明も行っている。出された意見について管理者、職員と検討を行い、家族への説明・業務運営・サービスに反映が出来るようにしている。家族の面会時にも職員と話ができる機会を作り、希望・苦情など気軽に表出しが出来るように努めている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>新しい職員が入った時は、研修担当と一緒に仕事に1ヶ月くらいは携わり、利用者、新人職員が不安なくスムーズに馴染む関係を築けるようにしている。職員の異動については「しなの通信」を通じて家族への報告を行っている。</p> | | |

グループホームしなの

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|-------------------------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>職員には段階に応じて外部研修に出掛けられるようにしている。多くは内部研修として日常の仕事の中でトレーニングにつなげるよう日々努めている。また、内部研修は非常勤を含め行われている。</p> | | <p>内部研修がほとんどであり、「働きながらの学び」の機会が中心になっているため、実践に即した研修になっているが、事業所外の研修報告なども定期的な全体会議の中で発表の機会を設け、パート職員も含め全員が共有できることを期待したい。</p> |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>長野圏域のグループホーム連絡会への加入をし、勉強会などに参加し、サービスの向上に取り組んでいる。</p> | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入居前に家族、利用者本人が見学に来ていただく。ホームで共に時間を過ごす中で、本人・家族が納得の上で入居できるようにしている。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>喜怒哀楽を共に分かち合えるように常に心がけている。表情を見ながら部屋で一緒に話しをしたり、ベンチで座りながら話を聞いたりして共存できるようにしている。一緒に過ごせる時間を多く作るように心がけており、共に行えるおやつ作りのときなどは利用者から盛り付け、作り方など教えてもらうことが多い。</p> | | |

グループホームしなの

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>センター方式のアセスメントを利用しており、家族に生活歴を書いてもらい、家族・本人の希望などの把握が出来るようにしている。困難にぶつかったときは生活歴を見直したり、家族から意見を聞いたりしながら個々別の対応につながるようにしている。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>利用者の担当職員が「本人が困っていることは何か」という視点に立ち、介護計画の原案を作っている。カンファレンスの中で話し合いを行い、ケアマネジャーがプランのチェックを行っている。また、話し合った介護点について、個々に介助マニュアルとして一覧にしてあることで誰でもが利用者本位のケアが行え、介護計画が共有できるような工夫をしている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>3ヶ月ごとに介護計画の見直しを行っている。毎日の申し送りの中で利用者の変化などの把握が出来る体制となっており、必要時には家族に連絡し相談する。随時介護計画の見直しが出来ておりプランの変更がなされ、個々の介助マニュアルに記載され皆が共有できる工夫をしている。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>家族と要望を聞きながら受診の支援、薬をもらいに行くなどの支援をしている。またホーム内におしゃれに気遣う利用者などには好みに応じ、美容師がきてヘアカラーをしてもらったり、多機能ならではの支援も行っている。</p> | | |

グループホームしなの

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------|------|---|---|-------------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>ホームにはかかりつけ医もあるが本人や家族の意向を聞き、入居前のかかりつけ医を継続している人やホームのかかりつけ医に診てもらう人など家族や本人と相談しながら個々の利用者の状況で医療が受けられるようになっている。</p> | | |
| 19 | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>入居時から終末期のあり方については家族と話している。重度化してきた利用者や状況の変化がある利用者にはホームからその都度、話をしている。また、主治医を交えて話し合いを行ったり、職員間で方針の共有ができるように努めている。</p> | | <p>ホームでは、終末期に医療依存度が高くなると常勤の看護師もいないため、ホームで暮らすことは難しいという。ホームの利用者も高齢となり、早めに利用者、家族、そして職員が共有し、安心して対応できる指針の作成を期待したい。</p> |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>プライバシー保護については、新人研修で特に大きな課題として話をしている。ホーム内での一人ひとりへの丁寧な言葉かけにも心がけており、ホーム内でプライバシーに関する気になることがあれば、その都度話し合いを行い、利用者の気持ちを考え行動できるようにしている。</p> | | |
| 21 | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>利用者が散歩に出掛けたい時間に出掛けられる。利用者のペースで食事が取れる。買い物で気分転換ができる。など本人の生活ペースを大切に、利用者の気持ちを聞きながら、日々生活を送れるようにしている。</p> | | |

グループホームしなの

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|-------------------------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 毎食の食事は専門の人が作ってくれるが、四季折々の食事が取れるようにしている。おやつは利用者とともに好みのものを作ったり、盛り付け、配膳、食器の片付けなど利用者ができることは行っている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は毎日行っている。利用者の希望を聞き、夕方に入る人や毎日入る人もいる。時間は決まっているが声かけにより個々の状況や希望によりいつでも入れる対応はしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者一人ひとりの力に合わせて、食事の準備をしたり、庭にある畑の野菜の収穫をしたり、洗濯たたみをしたり、生活暦の中で縫い物が好きな人は刺し子をしたりなどそれぞれの役割を持ちながら生活をしている。また、ゆっくり歌を歌う時間があったりなど楽しめる時間の工夫も行っている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気がよければ毎日散歩に出掛ける。また四季折々には七夕、花見、バラ園、など定期的に外出する企画などもあり、利用者の希望により外に出掛けている。また、玄関脇にある東屋を利用し戸外に出掛けられない人もお茶を飲んだりゆったりした時間をすごしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 鍵は夜8時から朝8時まで以外は玄関の鍵をかけることはない。居室の鍵などはまったくなく自分の家の中での居室という感覚での対応である。 | | |

グループホームしなの

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|--|-------------------------|---|
| 27 | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>今年度初めて、上野地区自主防災組織と災害にかかる協力応援体制に協定が結ばれ、地域の人々との協力を得る第一歩が踏み出された。利用者の部屋の入り口に外部から応援に対してどのように避難をさせたらよいか一目にわかる絵で搬送方法を示したカードがプライバシーに気をつけて掲げられた。来年に向け、実際に利用者を搬送してみるなど実践に基づいた訓練の計画もなされており今後の地域連携が期待される。</p> | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>食べる量や水分量が少なくなっている利用者には、本人の好きなものを出してあげたり、気分転換をさせながら時間をかけても食事・水分が摂れるように工夫されている。また、記録に残し職員が把握し食べれないときには、次の食事やおやつにつなげられるように申し送りもしている。</p> | | <p>一人ひとりのペースで食事を行い、食事の記録をしたり1日を通して食事・水分が摂れる工夫はなされているが、栄養のバランス面で献立内容を市の栄養士などに相談し、時々専門的な視点で意見を聴取する方法も今後検討していくことが望ましい。</p> |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>共有空間の中で洗面場所の前にベンチを置き、ゆったりと話をする空間が設けられている。その目の前の壁には小さなレトロ時計が置かれ、居心地のよい空間がもし出されている。また、食卓テーブルの配置などもその都度工夫し、利用者同士が不穏にならずゆっくり食事ができるようにいつも配慮されている。さりげなく草花も飾られており居心地よい空間の工夫がなされている。</p> | | |
| 30 | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者の部屋の中には、若かりし頃の夫婦の写真が飾られ、その人の人生の自慢の部屋空間を作っている。本が好きな利用者にはいつもすぐに利用できるように配置も工夫されている。また使いなれた引き出しやたんずも動きやすい環境を工夫しながら置かれている。家で寝具がベッドでなかった方は床にたたみを敷き自宅と同じ環境を作り、危険のない振舞いができる工夫もされていた。</p> | | |

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。